

# 事業用自動車総合安全プラン2025 中部ブロック取組計画

## 取組状況

1. 事業用自動車総合安全プラン2025重点施策の取組状況
2. 中部ブロック取組計画に基づく施策の取組状況
  - (1) 最重点施策の取組状況
  - (2) Mission 1st 運動の取組状況

**Mission 1st**  
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～



## ① バス

## (愛知県バス協会)

- 事故防止委員会、運輸安全マネジメントセミナー等を通じて、車内事故防止を始め、安全対策全般について指導。
- 7月に「車内事故防止キャンペーン」期間を捉え、各社において勉強会及び利用者への啓発用ポスターをバス車内に掲示。「ゆとり乗降」の啓発、「ゆとり運転」の励行。
- 各種助成の実施（SAS、脳ドック、適性診断等）

## (静岡県バス協会)

- 事故防止委員会において、飲酒運転防止啓発、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。
- 「バス事業における総合安全プラン2025」により、目標達成のため当面講ずべき施策の周知徹底を図った。
- セーフティーバス制度の利用の促進周知。

## (岐阜県バス協会)

- 事故防止講習会を通じて、飲酒運転根絶、乗務中の携帯電話による通話及びスマートフォンの操作禁止、運転者の健康状態の把握と日常の健康管理等について、周知徹底を図った。
- バス事業者特に乗合事業者には、ゆとり運転・ゆとり乗降を徹底し、発車・停車等における安全確認の実施及び車内に注意喚起ポスターを掲示し、車内事故防止の徹底を周知・啓発。バス停発進時における道路交通法ルールについて、ポスターチラシを県下25の指定自動車教習所及び県下6運転者講習センターへ掲示、配布を依頼。
- アルコール検知器導入補助、脳MRI検査、SASに係る受診費用について助成を実施。

## (三重県バス協会)

- 事故防止委員会等を通じて会員への周知徹底に務めた。
- 脳ドック及び睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査への一部助成を実施。
- 適性診断（適齢診断）への全額助成を実施。

## (福井県バス協会)

- 事故防止委員会を開催し、飲酒運転防止対応マニュアルの活用による飲酒運転根絶に向けた取組を確認。
- 運転者講習会を開催し、ながら運転の根絶含めた事故防止対策の徹底を促す。
- 車内事故防止キャンペーン期間を活用し、取組の強化を図ると共に、車両後面に「ゆずってくれてありがとう」のラッピングを施し、一般車両への啓発を実施。

## 1. 事業用自動車総合安全プラン2025重点施策の取組状況

## ② タクシー

## (名古屋タクシー協会)

- 全タク連作成の運転中の「ながらスマホNO!」のステッカーを各6700枚会員事業者に配布し注意喚起を実施。
- タクシー事故のドライブレコーダーから見た、危険察知、錯覚、死角など毎週講習を実施。名古屋大学水野教授に協力。タクシードライブレコーダーの提供（13事業所）運転手の被験者など危険認知の協力。
- 交差点での出会い頭事故を減少させるため、各教養、講習において交差道路より道幅が広いだけでは優先道路ではなく、徐行の励行を反復教養。日没1時間前点灯を原則として励行。

## (愛知県タクシー協会)

- モードを問わず飲酒事故、重大事故に係る情報を逐次提供。
- タクシー事業において特徴的な出会頭衝突事故、追突事故をはじめとする事故に関する情報の展開と事故防止に係る啓発を実施。
- 「飲酒運転防止対策ガイドライン」の周知徹底。

## (静岡県タクシー協会)

- 事故件数の多い交差点での出会い頭事故等を防止するため、2段階ブレーキによる早めの減速と左右等の称呼による確認の推進。
- 早めのライト点灯と適正なライト上向き走行により、認知距離を伸ばして事故防止を推進。
- 健康管理に関するマニュアルやガイドラインの策定や変更について情報共有、研修などの機会を捉え周知・徹底を推進。

## (岐阜県タクシー協会)

- 交通安全運動、年末年始輸送安全総点検実施前に指導委員会を開催し、会員に周知徹底を実施。
- 適性診断（適齢診断）の受診を再徹底するとともに、「指導委員会」で高齢運転者の対応について指導。
- 7月～12月の6ヶ月間で「無事故無違反コンテスト」を実施。

## (三重県タクシー協会)

- 全タク連作成の運転中の「ながらスマホ禁止」のステッカーを会員事業者に配布し注意喚起を実施。
- 三重県警察本部交通部長と「ドライブレコーダー映像記録照会協定」により、36件の照会があり、うち26件について映像記録を提供。
- 事故防止委員会、協会ニュース及びメール等により、会員へ周知。

## (福井県タクシー協会)

- 全タク連が作成した「ながらスマホ禁止」ステッカーの車両貼付により、運転者はもちろん他の車両にも注意喚起を実施。
- 乗務前の飲酒可能時間及び飲酒量を自社設定し、トイレステッカー等を活用して飲酒に関する注意喚起を実施。
- 協会けんぽと連携し、健康管理の徹底にかかる資料を入手して、定期的に会員へ配布。健康診断所見の提供によるアドバイスを実施。

## ③トラック

## (愛知県トラック協会)

- 「飲酒運転防止対策マニュアル」やチラシを活用した飲酒運転撲滅を啓発。
- 飲酒運転根絶するため、ドライバー向けの啓発品として独自に「フォールディングファン」を制作、各種活動にて配布。
- Mission1st運動に協調し、会員に飲酒運転防止ステッカーを配布。
- あおり運転とならないよう、車間距離を適正に保つ啓発グッズを作成し配布。あおり運転の危険を学べるDVDを無料で貸出。
- 各支部において関係団体と協調した交通安全活動を実施。歩行者保護を訴える交通安全啓発テレビCMを放映。
- 事故防止セミナーを開催（令和4年度：3回）
- 後方視野確認支援装置や側方視野確認支援装置などの各種安全装置、アルコールインターロックなどを導入促進する助成事業を実施。
- 睡眠時無呼吸症候群や脳ドックを受診促進する助成事業を実施。

## (静岡県トラック協会)

- 各種セミナーの開催（11/16「輸送安全セミナー」、8/24「健康管理セミナー」、11/9「健康起因事故防止セミナー」）
- 車輪脱落事故防止に関するセミナー開催。ホイールナットインジケーターの配付。
- 飲酒運転根絶に関するポスター掲示。
- 各種助成の実施。
  - ・衝突防止警報機器助成の実施 32件
  - ・ドライブレコーダ機器助成の実施 623件
  - ・ドライバー定期健康診断受診料助成の実施 15,126件
  - ・脳ドック・心臓ドック受診料助成の実施 690件
  - ・睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成の実施 73件

## (岐阜県トラック協会)

- 交通事故防止対策委員会で周知（6月21日、9月6日、11月28日）
- 健康管理セミナー開催（6月29日）
- 車輪脱落事故防止対策セミナー開催（11月17日）
- 陸運事業者のための安全マネジメントセミナー開催（10月17日）
- 初任運転者の研修会実施：12回
- 職員のアルコールインストラクター資格の取得
- メルマガ、広報誌にて周知

## ③トラック

## (三重県トラック協会)

- 協会各会員に向けた発送物の中に飲酒運転根絶の要請文を入れて指導教育の徹底を図った。（R4.10及びR5.1実施）
- 初任運転者講習、事故防止セミナー等を開催し飲酒運転防止の周知を図った。
- 安全宣言事業者に飲酒運転根絶を宣言させた。
- 各季の交通安全運動期に「ながら運転」「あおり運転」についての周知徹底を図った。
- 健康起因事故防止セミナー（R4.10 18名参加）を開催し健康診断等の重要性を説明。
- 各種助成の実施。
  - ・デジタコ（765台）、バックカメラ（563台）等の装置助成。・SAS（718台）及び血圧計（3台）の助成。
  - ・携帯型アルコール検知器（13台）の助成行ったが、ロボット点呼機器導入の申請はなかった。
- 大型車の車輪脱落事故防止強調月間運動及び研修（R4.10 14名参加）を実施。タイヤ脱着管理動画を周知。（R4.11）

## (福井県トラック協会)

- 全ト協作成「飲酒運転防止対策マニュアル」や事業用トラックが関係した飲酒運転事故事例をホームページで公開し、飲酒運転根絶意識の向上を図った。点呼時の更なる徹底した運行管理を推進するため、アルコール検知器91台への助成を行った。
- 地元ラジオ局が主催する飲酒運転撲滅活動のSDDプロジェクトに協賛し、ラジオCM100本を放送したほか、ポスター、チラシを全会員に配付。
- 四季の交通安全運動期間や毎月の「交通事故0を目指す統一行動日」において関係機関と連携し、主要幹線道路での街頭活動の実施や啓発物を配布するなどの交通安全啓発活動に積極的に取り組んだ。
- 交通事故防止意識の高揚を図るため、令和4年12月6日、関係行政機関と会員が一堂に会し「交通事故・労働災害防止大会」を開催、74名が参加した。大会では、危険運転の根絶等に向けた大会宣言を行った。
- 交通事故の未然防止と運行管理の徹底を図るため、適性診断（一般・初任・適齢）の受診1,698名の受診料、運転経歴証明書の取得4,020名の取得料への助成を行った。運行管理者講習受講者（基礎講習150名、一般講習632名）への受講料の助成を行った。
- 健康起因の事故を防止するため、令和4年9月2日、「健康管理セミナー」を開催、19名が参加したほか、全ト協の助成による血圧計の普及を促進するなど、メンタルヘルスを含めドライバーの生活習慣病対策を推進した。
- ドライバーの睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策を普及・強化するため、スクリーニング検査を受診した449名への助成を行った。
- 定期健康診断の受診率の更なる向上を図るため、健康診断を受診した5,053名への助成を行った。
- 脳血管疾患に起因する事故防止対策として、脳ドック検診の受診率の向上を図るため、受診した27名への助成を行った。
- 車輪脱落事故を防止するため、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」などを通じ、チラシやDVDの配布を行った。
- 令和4年9月28日に実車を用いた「車輪脱落事故防止講習会」を開催、50名が参加した。

#### ④-1 NASVA（自動車事故対策機構）

（名古屋主管支所管内における取組）

- 指導講習を通じた周知、啓発
  - ・各講習でのリーフレットの配布、飲酒運転撲滅の周知
  - ・迷惑運転等悪質な法令違反の周知
  - ・車内事故防止について周知、ドライブレコーダー等の映像を用いた事故防止手法の説明、推進
  - ・視野障害対策マニュアルの配布、視野障害のリスクを説明し、健診、治療などの取り組みについての周知
  - ・健康起因事故の発生状況、未然防止に関する情報の案内
  - ・実際に起こった事故を参考に、適切な指導・監督を実施し安全に努めていただくよう周知（全業態）
- オンラインカウンセリング及びリモート方式での指導講習については検討中。

#### ④-2 自動車整備振興会

（中部ブロック管内の自動車整備振興会の取組）

- 自動車点検整備推進運動において大型車に関する適切な点検・整備の実施方法についての啓発
  - ・会報誌への掲載、WEBサイト、SNSによる広報
  - ・テレビCM、ラジオCMによる定期点検整備促進のPR
  - ・ポスター、のぼり、デジタルサイネージによる広報
  - ・街頭検査の実施
  - ・マイカー点検教室の開催 等
- 整備管理者研修・整備主任者研修等において、大型車の車輪脱落事故事例を紹介するとともに確実な点検整備の実施について啓発
- 大型車脱輪防止ホイールナットマーカの配布



「事業用自動車総合安全プラン2025」の重点施策を基礎とし、各県各モードの特色を踏まえ、中部ブロックの事業用自動車の事故等の削減を目指すため

「事業用自動車総合安全プラン2025中部ブロック取組計画」を策定。

中部ブロック事故等削減目標	
令和7年までに以下の目標達成を目指す (括弧内の数値は令和元年の発生状況)	
<small>【ブロック目標値の算定】 全国の目標値と全国の令和元年の発生状況と比較し、各項目で減少率を算出、中部ブロックの令和元年の発生状況に減少率を乗じたものをブロック目標値とした</small>	
ブロック全体	24時間死者数 <u>19人以下</u> (R1:29) 重傷者数 <u>81人以下</u> (R1:132) 人身事故件数 <u>1467件以下</u> (R1:3086) 飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:9)
バス	乗客の死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0) 死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0) 重傷者数 <u>5人以下</u> (R1:8) 人身事故件数 <u>54件以下</u> (R1:106) 飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:0) 乗合バス車内事故件数 <u>11件以下</u> (R1:33) 貸切バス乗客負傷者数 <u>3件以下</u> (R1:11)
タクシー	乗客の死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0) 死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0) 重傷者数 <u>15人以下</u> (R1:21) 人身事故件数 <u>423件以下</u> (R1:819) 飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:1) 出会い頭衝突事故件数 <u>91件以下</u> (R1:209)
トラック	死者数 <u>19人以下</u> (R1:29) 重傷者数 <u>61人以下</u> (R1:103) 人身事故件数 <u>990件以下</u> (R1:2161) 飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:8) 追突事故件数 <u>506件以下</u> (R1:914)

### 主な施策 (プラン2025の施策に加え)

#### 1. 最重点施策の設定

各県各モードで以下2種のテーマについて最重点施策を設定

- (選択項目) 削減すべき事故類型1種
- (固定項目) 飲酒運転ゼロ

1年ごとに効果把握、必要に応じ見直し

#### 2. Mission 1st 運動の継続及び強化

新たに以下を重点項目として設定、具体的

- ① 情報の「受信者」の明確化
- ② 情報の「質」の向上
- ③ 情報の「発信力」の向上



##### ① 情報の「受信者」の明確化

最終的な事故等防止のキーマンは「運転者」であり、運転者に向けいかに必要な情報を伝えるか、情報を伝える側、受ける側それぞれをそれぞれの立場で明確化するとともに、情報発信体制の強化を図る。

##### ② 情報の「質」の向上

引き続き好事例の発掘を行うほか、重大事故・飲酒運転事案等不適切な事象についても保安・環境課担当者が監督官が実施する特別監督等と同行し、再発防止の観点から情報収集を実施するなどして、情報の質の向上を図る。

##### ③ 情報の「発信力」の向上

情報をより効果的に伝えるため、関係者それぞれで行っていた情報発信の一部を、資源・予算ともを集約し、ブロック全体の取組として発信するとともに、新たなコンテンツの開発に取り組む。

また、当該取組は少なくとも新プランの運用年を通して取り組むこととし、取組の連続性を維持することによる関係者への発信力の維持・向上につなげる。

## 2.(1) 最重点施策の取組状況 まとめ

### 最重点施策 (選択項目) 削減すべき事故類型1種に対する取組状況

令和4年度の取組結果

(バス)  
●事故防止委員会、事故防止に係るセミナー等を通じて会員に周知  
●車内事故防止キャンペーンにおける利用者向け啓発の実施  
「ゆとり乗降」「シートベルト着用」「バス発進時優先ルール」各ポスター  
車両後面に「ゆずってくれてありがとう」のラッピング  
●県警と連携した周知啓発活動  
ポスター、チラシを作成し、各警察署、運転免許試験場等へ配布し周知  
等

(タクシー)  
●指導主任者研修、事故防止委員会等を通じて会員に周知  
●支部総会にて「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル」を説明し、各社での乗務員指導を要請  
●各交通安全運動期間において、タクシー協会の安全運動実施計画に基づき、交通ルールの遵守及び運転マナーの周知徹底  
●ドライブレコーダ映像記録による危険予知に対する確認の徹底  
等

(トラック)  
●事故防止委員会、事故防止に係るセミナー等を通じて会員に周知  
●初任運転者研修会、ドライバー向け事故防止講習会、個別事業者への出張指導講習の実施  
●トラック・セーフティ・ラリー、トラックドライバーコンテスト等の実施  
●安全宣言事業者の募集  
●交通安全県民運動期間中の啓発活動の実施  
●ドラレコ・デジタコ、安全装置等導入促進助成  
●車輪脱落事故講習会 (座学・実技) の実施  
等

### 最重点施策 (固定項目) 飲酒運転ゼロに対する取組状況

令和4年度の取組結果

(バス)  
●事故防止委員会、貸切バス実務委員会、運行管理者向け安全セミナー等を通じて「飲酒運転ゼロ」の周知徹底  
●日バス協の「飲酒運転防止週間」において、近年の「飲酒運転」事案及び飲酒運転防止対策マニュアルを配布し飲酒運転の根絶を周知  
●Mission1st運動トイレスタッカーの配布、飲酒運転の根絶を周知  
●アルコール検知器の導入補助  
等

(タクシー)  
●モードを問わず飲酒事故、重大事故、タクシー事業に特徴的な事故(出合頭衝突事故、追突事故)等に係る情報を逐次提供  
●事業者において乗務前のアルコール検査と点呼時の確認を徹底  
●Mission1st運動トイレスタッカーを活用して、乗務前日の飲酒時間と飲酒量を設定するなど、意識改革を推進  
等

(トラック)  
●事故防止委員会、事故防止に係るセミナー等を通じて会員に周知  
●初任運転者研修会、講習会で周知  
●飲酒運転根絶に向けた啓発物の作製・配付  
●飲酒運転しない宣言の実施  
●関係機関の交通安全活動へ積極的に参加  
●適正化実施機関の巡回指導による周知及び指導  
●アルコール検知器導入促進助成  
等

令和 7 年までの全体目標（車内事故・参考）

バス	愛知							静岡							岐阜							三重							福井						
	車内事故							車内事故							車内事故							車内事故							車内事故						
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7			
	20	12	15	19	11	8	5	10	7	7	9	5.8	4.4	3	2	1	0	0	1.4	1.2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1		

令和 4 年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和 4 年度の実績結果

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	車内事故 (事故報告書提出件数) 48件 (R1) →0件 (R7)	車内事故 10件 (R1) →5件 (R4)	追突事故 3件 (R2) →0件 (R4)  車内事故 1件 (R2) →0件 (R4)	車内事故 0件 (R2) →0件 (R4)	車内事故 1件 (R2) →1件以下 (R4) 人身事故 2件 (R2) →1件以下 (R4)
最重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止委員会での徹底（年間 2 ～ 3 回）</li> <li>・運行管理者向け安全教育セミナーの開催（年間 2 回）</li> <li>・車内事故防止キャンペーン（毎年 7 月）での各社具体的な取組み及び利用者向け啓発の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 4 回開催の事故防止委員会において指導（重点指導事項）</li> <li>・第一当事者となる重大事故を 0 とする。</li> <li>・車内事故をなくすよ「ゆとり乗降」に取り組む</li> <li>・やさしい運転の実施並びに車内広報の実施。</li> <li>・車内事故防止キャンペーンにおける取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの開催（会員向け追突事故防止等セミナーを開催 ※令和 4 年度中 2 回開催予定）</li> <li>・衝突被害軽減ブレーキ搭載車両導入に係る費用補助</li> <li>・車内事故防止の広報ポスター、グッズ等の作製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内事故防止啓発フィルム（床貼付用）を購入し、希望会員（コバス会員も含む）に無償配布する。</li> <li>・毎年、日バスが作成する車内事故防止ポスター（縦型：営業所用、横型：車内掲出用）を購入し、希望会員に無償配布する。</li> <li>・事故防止委員会等において、車内事故防止呼びかけアナウンス（高速バス及び貸切バスについてはシートベルト着用）の徹底推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内事故防止キャンペーン期間において、会員会社を通じて利用者への周知の徹底、利用者に対するバスの乗り方に関する周知</li> <li>・人身事故の防止を図るため、事故防止委員会、バス運転手安全講習会を通じて、事故防止の徹底を推進する。</li> </ul>
令和 4 年度取組結果	<p>令和 4 年度事業として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止委員会（2 回）、貸切バス実務委員会（1 回）、運行管理者向け安全セミナー等で徹底を図るとともに、令和 4 年 7 月に「車内事故防止キャンペーン」を実施して、車内事故撲滅に取組んだ。</li> <li>・愛知県警と連携して「乗合バス発進時優先ルールの PR」ポスター、チラシを作成し、各警察署、運転免許試験場等へ配布し周知した。</li> <li>・削減目標である「事故報告規則に該当する重大事故ゼロ」は未達成、発生件数は過去年度によりバツキはあるものの減少傾向である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 4 回開催している事故防止委員会において、静岡運輸支局及び静岡県警察本部から事故防止についてご指導をいただくとともに、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。</li> <li>・車内事故防止キャンペーン強化月間において、会員への実施要領の周知・徹底を行うとともに、ホームページを活用し、広く運動の取組の PR を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止に係る安全教育セミナーを 2 回実施（4、8、31、5、1、31）</li> <li>・車内事故防止に係るポスターによる啓発を実施。「ゆとり乗降」「シートベルト着用」「バス発進時優先ルール」の各ポスター</li> <li>・事故防止委員会（4 回）における、注意喚起。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金予算の大幅な削減から、車内事故防止啓発フィルム（床貼付用）の無償配布は実施できなかった。</li> <li>・交付金予算は大幅に削減されたが、日バスが作成する車内事故防止ポスター（縦型：営業所用、横型：車内掲出用）については、例年通り希望会員に無償配布できた。</li> <li>・事故防止委員会等において、車内事故防止呼びかけアナウンス（高速バス及び貸切バスについてはシートベルト着用）の徹底推進を図った。</li> <li>・日バス予算にて、バス停留所発進時における道路交通法ルール（乗合バスの優先発進）PR 用ポスター、チラシを各警察署、市町、レンタカー協会、自動車学校等に配布し、無理な割り込み（やむを得ない急ブレーキ）による車内事故防止に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7 月の車内事故防止キャンペーンにおいて、車内事故防止に向けた会員各社の取組を強化すると共に、併せて利用者への啓発に取り組んだ。又、車内事故防止に向け、車両の後面に「ゆずってくれてありがとう」のラッピングを施し、一般車両への啓発に取り組む。</li> </ul>

令和 5 年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	車内事故 (事故報告書提出件数) ゼロ	車内事故 7件 (R3) →5件 (R5)	車内事故 0件 (R3) →0件 (R5)  追突事故 1件 (R3) →0件 (R5)	車内事故 車内事故ゼロ	車内事故 車内事故 0件
最重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止委員会での徹底（年間 2 ～ 3 回）</li> <li>・運行管理者向け安全教育セミナーの開催（年間 2 回）</li> <li>・車内事故防止キャンペーン（毎年 7 月）での各社具体的な取組み及び利用者向け啓発の実施</li> <li>・バス停留所発進時における道路交通法ルールの周知・PR（ポスター・チラシの配布、掲示）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 4 回開催の事故防止委員会において指導（重点指導事項）</li> <li>・第一当事者となる重大事故を 0 とする</li> <li>・車内事故をなくすよ「ゆとり乗降」に取り組む</li> <li>・やさしい運転の実施並びに車内広報の実施</li> <li>・車内事故防止キャンペーンにおける取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内事故防止の広報、ポスター作製</li> <li>・<b>道路交通法第 31 条の 2（停留所におけるバス発進時優先ルール）の周知。※4 年度末から</b></li> <li>・事故防止セミナーの開催</li> <li>・衝突被害軽減ブレーキ搭載車両導入に係る費用補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内事故防止啓発フィルム（床貼付用）を購入し、希望会員（コバス会員も含む）に無償配布する。</li> <li>・毎年、日バスが作成する車内事故防止ポスター（縦型：営業所用、横型：車内掲出用）を購入し、希望会員に無償配布する。</li> <li>・事故防止委員会等において、車内事故防止呼びかけアナウンス（高速バス及び貸切バスについてはシートベルト着用）の徹底推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内事故 0 件に向け、有効と考えられる防止策の取組を推進する</li> </ul>

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

バス	愛知							静岡							岐阜							三重							福井						
	飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転						
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定 R5	年同率減少 想定 R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定 R5	年同率減少 想定 R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定 R5	年同率減少 想定 R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定 R5	年同率減少 想定 R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定 R5	年同率減少 想定 R6	目標 R7
	0	0	0	0			ゼロ	0	0	0	0			ゼロ	0	0	0	0			ゼロ	0	0	0	0			ゼロ	0	0	0	0			ゼロ

令和4年度に設定した最重点施策及び令和4年度の実績結果

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
目標	<b>飲酒運転ゼロ</b>				
飲酒運転ゼロに向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器の導入補助（運輸事業振興助成交付金を活用した事業者助成）</li> <li>事故防止委員会での徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（事故防止委員会（年4回）での指導事項）</li> <li>運行前点検及び運行後点呼の確実な実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能・高機能アルコール検知器の導入補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ASK（アルコール薬物問題全国市民会議）主催のインストラクター講習会等の受講を推進する。</li> <li>秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）の実施に併せて実施している日バスの『飲酒運転防止週間』において、【近年の「飲酒運転」事案】及び【飲酒運転防止対策マニュアル】を配布し飲酒運転の根絶を図っており、これを継続。</li> <li>年4回開催の事故防止委員会等を通じて、県交通安全対策協議会が策定した「飲酒運転0をめざす基本計画」の浸透・定着化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器助成（1事業者2台、1機器5千円助成）</li> </ul>
令和4年度取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度事業として、</li> <li>事故防止委員会（2回）、貸切バス実務委員会（1回）、運行管理者向け安全セミナー等で「飲酒運転ゼロ」の徹底を図った。</li> <li>令和4年度は、飲酒運転による事故は発生していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回開催している事故防止委員会において、静岡運輸支局及び静岡県警察本部から事故防止についてご指導をいただくとともに、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器の導入補助 18事業者</li> <li>事故防止委員会（4回）における指導徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の全国交通安全運動に併せて実施している日バスの『飲酒運転防止週間』において、【近年の「飲酒運転」事案】及び【飲酒運転防止対策マニュアル】を配布し飲酒運転の根絶を周知した。</li> <li>昨年度4回開催の事故防止委員会等を通じて、県交通安全対策協議会が策定した「飲酒運転0をめざす基本計画」の浸透・定着化を行った。</li> <li>Mission1st運動における飲酒量目安のトイレステッカーは、11/30（水）の事故防止委員会にて配布し、飲酒運転の根絶を周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器導入助成を継続し、事業者の取組を支援。又、事故防止委員会（年4回）及び運転者講習会（4回）開催し、飲酒運転防止に向けた徹底を図った。</li> </ul>

令和5年度に設定した最重点施策

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
飲酒運転ゼロに向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器の導入補助（運輸事業振興助成交付金を活用した事業者助成）</li> <li>事故防止委員会での徹底（年間2～3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回開催の事故防止委員会において指導（重点指導事項）</li> <li>運行前点呼及び運行後点呼の確実な実施</li> <li>アルコール検知器の導入助成（運輸事業振興助成交付金）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能高機能アルコール検知器の導入補助</li> <li>飲酒運転防止対策マニュアルによる啓発活動</li> <li>事故防止委員会等を活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）の実施に併せて実施している日バスの『飲酒運転防止週間』において、【近年の「飲酒運転」事案】及び【飲酒運転防止対策マニュアル】を配布し飲酒運転の根絶を図っており、これを継続。</li> <li>年4回開催の事故防止委員会等を通じて、県交通安全対策協議会が策定した「飲酒運転0をめざす基本計画」の浸透・定着化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、事故防止委員会や講習会等を通じて、飲酒運転防止に関する注意喚起を推進していく。</li> </ul>



令和7年までの全体目標（出会い頭事故・参考）

タクシ	愛知							静岡							岐阜							三重							福井																											
	出会い頭事故														出会い頭事故														出会い頭事故														出会い頭事故													
	基準	実績	実績	実績	年間率減少想定	目標	基準	実績	実績	実績	年間率減少想定	目標	基準	実績	実績	実績	年間率減少想定	目標	基準	実績	実績	実績	年間率減少想定	目標	基準	実績	実績	実績	年間率減少想定	目標																										
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																					
	112	65	70	82	73.6	60.8	48	81	43	41	52	53.4	44.2	35	10	2	3	7	7	6	5	2	3	5	5	1.4	1.2	1	4	3	0	0	2.8	2.4	2																					

令和4年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和4年度の実績結果

モード・テーマ	愛知	名古屋	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	出会い頭衝突事故 追突事故 (目標設定無し)	出会い頭事故 112件 (R1) →78件 (R4) 30%減	出会い頭事故 43件 (R2) →37件 (R4) 15%減	出会い頭事故 10件 (R1) →7件 (R4) 30%減	出会い頭事故 3件 (R2) →0件 (R4)	出会い頭事故 3件 (R2) →0件 (R4)
最重点施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催(各1回) ・ライド&ライト運動、ベースカー運動の継続	・住宅区域内での対車両(軽車両)事故の徹底防止。特に軽車両(自転車)の特性を理解させる。(自転車は一時停止場所でも一時停止しない。)交差点での徐行の徹底。優先道路と優先権のある道路の差異を各講習で教養、指導する。	・セミナーの開催(会員向けに出会い頭衝突事故防止に向けたセミナーを開催 令和4年度中に1回開催) ・Mission 1st ホームページにより情報共有を図り、講演資料や好事例の活用を推進する。	交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」(事故防止対策会議)で安全運行を徹底するとともに、事業者においては、乗務員個々の運転状況などをもとに助言や指導を徹底する。	・交差点及び狭い道路での出会い頭事故を防止するため、前方や側方の飛び出し等の注意を徹底する。 ・信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の徹底。 ・特にドライブレコーダ映像記録による危険予知に対する確認の徹底。	・各支部で開催する研修会にて安全対策の講習を実施する。 ・交通安全運動実施期間前に開催する事故防止委員会、さらなる交通ルールの順守及び交通マナーの徹底を図る。 ・各事業者において、点呼時に指導・注意喚起を行うことを徹底するとともに、ドライブレコーダー等を活用して教育指導を行う。
令和4年度取組結果	・指導主任者研修(9月)と自動車交通事故防止セミナー(3月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。 ・ライド&ライト運動、ベースカー運動については、年間を通じて実施した。	・名古屋タクシー協会交通圏での令和4年出会い頭は、第一原因での人身事故件数が69件(法人65件個人4件)第二原因は33件(法人30件個人3件)であった。第一原因での事故が第二原因の2倍余りと第一原因での事故件数を減少させるため、継続した指導教養が必要である。	・セミナー未実施 ・ホームページの情報共有と資料配布を実施	・交通安全運動の実施期間前に開催した「指導委員会」(事故防止対策会議)で、更なる交通ルールの遵守と交通マナーの実践を徹底した。また、事業者においては、点呼時に指導や注意喚起を行なった。	・出会い頭事故1件発生し、目標は達成できなかった。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各支部での安全対策研修会は未実施となったが、2つの支部総会に協会専務理事が出席し、「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル」を抜粋説明し、各社での乗務員指導を要請した。 ・各交通安全運動期間においては、タクシー協会の安全運動実施計画に基づき、交通ルールの遵守及び運転マナーの徹底を図った。 ・毎点呼時に安全運転・事故防止の指導・注意喚起を徹底し、ドライブレコーダー社においては、ドライブレコーダー記録を活用して教育を行った。

令和5年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・テーマ	愛知	名古屋	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	出会い頭衝突事故 追突事故 (目標設定無し)	出会い頭事故 112件 (R1) →89件 (R5) 20%減	出会い頭事故 43件 (R2) →37件 (R5) 15%減	出会い頭事故 10件 (R1) →7件 (R5) 30%減	出会い頭事故 3件 (R2) →0件 (R5)	出会い頭事故 3件 (R2) →0件 (R5)
最重点施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催(各1回) ・ライド&ライト運動、ベースカー運動の継続	・住宅区域内での対車両(軽車両)事故の徹底防止。特に軽車両(自転車)の特性を理解させる。(自転車は一時停止場所でも一時停止しない。)交差点での徐行の徹底。 ・優先道路と優先権のある道路の差異を各講習で教養、指導する。	・セミナーの開催(会員向けに出会い頭衝突事故防止に向けたセミナーを開催 令和5年度中に1回開催) ・Mission 1st ホームページにより情報共有を図り、講演資料や好事例の活用を推進する。	交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」(事故防止対策会議)で、 <b>交通ルールの遵守と交通マナーの実践を徹底するとともに、事業者においては、点呼時等で指導や注意喚起を行う。</b>	・交差点及び狭い道路での出会い頭事故を防止するため、前方や側方の飛び出し等の注意を徹底する。 ・信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の徹底。 ・特にドライブレコーダ映像記録による危険予知に対する確認の徹底。	・各支部で開催する研修会にて安全対策の講習を実施する。 ・事故防止・サービス委員会で、さらなる交通ルールの順守及び交通マナーの徹底を図るとともに、 <b>席上配付した資料を全会員に送付して事故防止意識を共有する。</b> ・各事業者において、点呼時に指導・注意喚起を行うことを徹底するとともに、ドライブレコーダー等を活用して教育指導を行う。

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

タクシ	愛知						静岡						岐阜						三重						福井																																			
	飲酒運転												飲酒運転												飲酒運転												飲酒運転												飲酒運転											
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定		目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定		目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定		目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定		目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定		目標 R7																									
	0	0	0	0	ゼロ			1	0	0	0	ゼロ			0	0	0	0	ゼロ			0	0	0	0	ゼロ			0	0	0	0	ゼロ																											

令和4年度に設定した最重点施策及び令和4年度の実績結果

モード・ テーマ	愛知	名古屋	静岡	岐阜	三重	福井
目標	<b>飲酒運転ゼロ</b>					
飲酒 運転 ゼロ に向けた 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各1回）</li> <li>モードを問わず飲酒事故に係る情報を逐次提供</li> </ul>	点呼時でのアルコールチェックの励行	セミナーの開催（会員向けに飲酒運転撲滅に向けたセミナーを開催令和3年度中に1回開催）	事業者による乗務前のアルコール検査と乗務終了後の確認を徹底	飲酒や薬物等による運転操作への影響、危険性等について指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器を用いた検査の励行</li> <li>社内において、飲酒運転の悪質性・危険性について、広報啓発活動を通じて意識改革を推進し、飲酒運転の根絶を図る。</li> </ul>
令和 4年 度 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主任者研修(9月)と自動車交通事故防止セミナー(3月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。</li> <li>モードを問わず飲酒事故、重大事故、タクシー事業に特徴的な事故(出合頭衝突事故、追突事故)等に係る情報を逐次提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒運転撲滅には、二日酔い、数時間休憩後の運転を0にするため、ミッション1のトイレステッカーでの周知、毎週新任教養（令和4年度9月4日受講）でのアルコール体内分解時間について教養を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務前後のアルコール検査を的確に実施</li> <li>講習資料を全会員に配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者による乗務前のアルコール検査と乗務終了後の確認を徹底した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒運転は0件で目標は達成できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社において、毎点呼時にアルコール検査を実施した。</li> <li>各社において、トイレステッカーを活用して、乗務前日の飲酒時間と飲酒量を設定するなど、意識改革を推進した。</li> </ul>

令和5年度に設定した最重点施策

モード・ テーマ	愛知	名古屋	静岡	岐阜	三重	福井
飲酒 運転 ゼロ に向けた 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各1回）</li> <li>健康管理関係マニュアル・ガイドライン等に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点呼時でのアルコールチェックの徹底。</li> <li>トイレステッカーを有効活用し、飲酒運転の危険性と二日酔い（アルコールが体内で分解する時間）の教養、指導を継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務前及び乗務後のアルコール検査の徹底</li> <li>Mission 1 st による講習資料の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者による乗務前のアルコール検査（アルコール検知器使用）と乗務終了後の確認を徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「飲酒運転防止対策ガイドライン」に従った飲酒運転0に向けた取組の推進。</li> <li>飲酒運転撲滅の啓発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール検知器を用いた検査を励行する。</li> <li>事業者において、飲酒運転の悪質性・危険性について、広報啓発活動等を通じて乗務員の意識改革を向上させ、飲酒運転の根絶を図る。</li> </ul>

令和7年までの全体目標（追突事故・参考）

トラック	愛知							静岡							岐阜							三重							福井						
	追突事故							追突事故							追突事故							追突事故							追突事故						
	基準	実績	実績	実績	年同率減少想定	目標		基準	実績	実績	実績	年同率減少想定	目標		基準	実績	実績	実績	年同率減少想定	目標		基準	実績	実績	実績	年同率減少想定	目標		基準	実績	実績	実績	年同率減少想定	目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	511	481	502	479	353	301	249	317	293	256	264	220	187	155	83	65	68	84	57.8	49.4	41	95	81	79	74	66.2	56.6	47	28	22	21	16	19.6	16.8	14

令和4年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和4年度の実績結果

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	車両同士の追突事故 481件 (R2) →433件 (R4) 48件減	追突事故 293件 (R2) →249件 (R4) 15%減	追突事故・歩行者に起因する事故 1万台あたりの死亡事故件数 1.19件 (R2) →0.5件 (R4)	追突事故 81件 (R2) →68件 (R4) 15%減	追突事故 28件 (R1) →22件 (R4) 20%減
最重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラック・セーフティ・ラリーの実施。</li> <li>交通事故防止セミナーの開催。</li> <li>トラック安全デー活動の推進。</li> <li>交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。</li> <li>国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。</li> <li>事故を防止する安全装置に対する助成事業。</li> <li>愛ト協独自で作成したテレビCMの放映。</li> <li>各種マスメディアを利用した広報事業。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員向けセミナーの開催</li> <li>クラウド型運行管理機器による追突実験削減のための実証実験を継続</li> <li>ドラレコ・デジタコ導入促進助成事業の実施</li> <li>衝突防止警報装置導入促進助成事業の新設</li> <li>交通安全コンクールをはじめ、交通安全運動等への積極的な参加と周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止セミナーの開催</li> <li>個別事業者への出張指導講習</li> <li>初任運転者研修の実施</li> <li>トラックドライバーコンテストの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーの開催（ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナー及び健康起因事故に特化したセミナー）※令和4年度中2回開催予定</li> <li>ドライブレコーダー及びデジタコ導入費用助成</li> <li>安全宣言事業者の募集</li> <li>各新聞広告等での周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標を達成するために、総合安全プラン目標達成セミナー（追突事故防止セミナー）の開催（各支部開催の推奨）</li> <li>車輪脱落事故防止講習会の開催（座学・実技指導）</li> <li>「交通安全労働災害死亡事故0運動2022」の実施（R4.4.1～R5.3.31）</li> <li>「トラックドライバー安全運転コンクール」の実施（R4.4.15～R4.10.15）</li> <li>事故防止啓発ポスター、チラシ等の配布及びHP掲載</li> <li>安全装置等導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限3万円/台）</li> </ul>
令和4年度取組結果	追突事故件数 479件（愛知運輸支局よりデータ提供） ・トラックの日（10月9日）に併せて県内統一パレードを実施し、道路利用者に対して交通安全を呼び掛けた。 ・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 参加数：1,402社（13,855チーム）69,275名 達成率80.8%	・健康管理セミナー（8/24）、輸送安全セミナー（11/16）、陸運業者のための安全マネジメント研修会（1/26）を実施 ・クラウド型運行管理機器による追突実験削減のための実証実験 2社実施 ・ドラレコ（623件）・デジタコ（817件）導入促進助成事業の実施 ・衝突防止警報装置導入促進助成事業の実施（32件）	交通事故防止セミナー開催：5月9日、6月29日、10月17日、11月17日 初任運転者の研修会実施：12回 トラックドライバーコンテスト開催：9月4日 個別事業者への出張指導講習：2回 優良ドライバーの認定：147事業者 1,616名	・健康起因事故防止セミナーを令和4年10月5日に実施し17社18名が参加した。 ・ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナーを令和5年3月6日に実施し31社31名が参加した。 ・ドライブレコーダー及びデジタコについて合計1,302台分助成を行った。 ・安全宣言事業者の募集を行い、135社3,555名の参加があった。	①「交通・労働災害死亡事故0運動2022」の実施（R4.4～R5.3） ・運動啓発ポスターの作成/全会員に配布・機関誌「トラックニュースふくい」及び協会HPに掲載 ②「第18回トラックドライバー安全運転コンクール」を実施（R4.4～11）：215日間 ・参加チーム：683チーム（3,415名） ・達成チーム：483チーム（2,415名）、達成率：70.7%

令和4年度取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止セミナーの開催 12回開催（本部及び各支部）</li> <li>トラック安全デー活動の推進 各支部での交通安全運動・・・75回</li> <li>関係機関が行った交通安全活動へ積極的に参加した。</li> <li>国土交通省や全日本トラック協会とタイアップしたチラシを配布した。</li> <li>事故防止に資する安全装置への助成。EMS機器/2,348基 ドライブレコーダー支援機器/2,378基 安全装置（後方視野確認、IT点呼機器、追突防止等）/1,100基</li> <li>年末の交通安全県民運動期間に併せて、事故防止啓発のテレビCMを放映した。</li> <li>トラックフェスティバル（2月19日）を開催し、一般市民に対して交通安全を呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全コンクールを初め、交通安全運動等への積極的な参加と周知</li> </ul>			③「ドライバー向け事故防止講習会」を開催 ・日時：令和4年6月25日 10:00～/13:30～ ・受講者：89名 ④車輪脱落事故講習会（座学・実技） ・日時：令和4年9月28日 ・受講者50名 ⑤「令和4年度交通事故・労働災害防止大会」を開催 ・日時：令和4年12月6日 13:30～ ・来賓：福井運輸支局、福井労働局、福井県警察本部、福井県 ・参加者：74名 ・講話「事故ゼロの社会となる為に」講師 中部交通共済福井県支部 山崎所長 ⑥四季の「交通安全県民運動」期間中に街頭啓発活動（7支部実施） ・各地主要道路交差点において、のぼり旗等で啓発活動を実施 ⑦ドライブレコーダー機器導入促進助成 ・助成台数：212台 ⑧安全装置導入促進助成 ・助成台数：171台
-----------	--	---	--	--	--

令和5年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
削減すべき事故類型目標	車両同士の追突事故 502件 (R3) →450件 (R5) 1割減	追突事故 256件 (R3) →217件 (R5) 15%減	追突事故・歩行者に起因する事故 1万台当たりの 死者数2人、重傷者数6人	追突事故 79件 (R3) →67件 (R5) 15%減	追突事故 21件 (R3) →17件 (R4) 20%減
最重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラック・セーフティ・ラリーの実施。</li> <li>交通事故防止セミナーの開催。</li> <li>トラック安全デー活動の推進。</li> <li>交通事故防止スローガンの策定（四半期ごと）</li> <li>交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。</li> <li>国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。</li> <li>事故を防止する安全装置に対する助成事業。</li> <li>愛ト協独自で作成したテレビCMの放映。</li> <li>各種マスメディアを利用した広報事業。</li> <li>トラックフェスティバルの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド型運行管理機器と衝突防止警報機器の連携による、追突事故防止実証実験の継続</li> <li>ドラレコ・デジタコ導入促進助成事業継続</li> <li>衝突防止警報機器の助成事業継続並びに助成対象機器拡大</li> <li>交通事故防止セミナーの開催</li> <li>安全運転コンクールや各種交通安全運動への積極的な参加と周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止セミナーの開催</li> <li>個別事業者への出張指導講習</li> <li>初任運転者研修の実施</li> <li>トラックドライバーコンテストの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーの開催（ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナー及び健康起因事故に特化したセミナー）※令和5年度中2回開催予定</li> <li>ドライブレコーダー及びデジタコ導入費用助成</li> <li>安全宣言事業者の募集</li> <li>各新聞広告等での周知</li> <li>定期発注で周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通労働災害死亡事故0運動2023の実施（R5.4.1～R5.3.31）</li> <li>トラックドライバー安全運転コンクールの実施（R5.4.15～R5.11.15）</li> <li>安全装置等導入助成の実施（本体価格の1/2上限3万円/台）</li> <li>総合安全プラン目標達成セミナーの開催</li> </ul>

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

トラック	愛知							静岡							岐阜							三重							福井										
	飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転										
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6	目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	実績 R4	年同率減少 想定	R5	R6
	3	2	1	4			ゼロ	2	1	1	0				ゼロ	0	0	2	0				ゼロ	2	0	0	1			ゼロ	1	1	2	1			ゼロ		

令和4年度に設定した最重点施策及び令和4年度の実績結果

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
目標	<b>飲酒運転ゼロ</b>				
最重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック・セーフティ・ラリーの実施。</li> <li>・交通事故防止セミナーの開催。</li> <li>・トラック安全デー活動の推進。</li> <li>・交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。</li> <li>・国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。</li> <li>・各種マスメディアを利用した広報事業。</li> <li>・飲酒運転根絶を目的とした啓発グッズの作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員向けにセミナーの開催</li> <li>・広報誌にて飲酒運転防止を啓発</li> <li>・飲酒運転防止啓発グッズを作成・配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼を確実に実施（アルコール検知器使用）</li> <li>・交通事故防止対策委員会にて周知</li> <li>・広報媒体を活用した周知（HP、メルマガ、機関紙）</li> <li>・適正化巡回指導や交通事故防止巡回による周知及び指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期発送で周知</li> <li>・初任運転者講習及び各支部講座での飲酒運転防止についての説明</li> <li>・飲酒運転防止DVDの会員用への貸し出し</li> <li>・適正化実施機関巡回指導等での指導</li> <li>・飲酒運転をしない 運転者宣言の募集と周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「危険運転0宣言」（飲酒運転・ながら運転・あおり運転）継続（卓上のぼり旗、ポスター、ステッカー等配布し周知徹底）</li> <li>・「飲酒運転撲滅活動inふくい」（SDDプロジェクト）に協賛</li> <li>・アルコール検知器等導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限10万円）</li> <li>・アルコールインターロック装置導入の推進</li> </ul>
令和4年度取組結果	飲酒運転件数 4件（愛知運輸支局よりデータ提供）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック・セーフティ・ラリーの実施。参加数：1,402社（13,855チーム）69,275名 達成率80.8%</li> <li>・交通事故防止セミナーの開催 12回開催（本部及び各支部）</li> <li>・トラック安全デー活動の推進 各支部での交通安全活動・・・75回</li> <li>・関係機関が行った交通安全活動へ積極的に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各所へポスター掲示</li> </ul>	交通事故防止対策委員会にて周知 6月21日、9月6日、11月28日 初任運転者研修会で周知 適正化巡回指導による周知及び指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年10月号で「正しい運転、明るい輸送運動」の際に周知し、令和5年1月号で飲酒運転の撲滅や行政処分について再周知した。</li> <li>・初任運転者講習を3回開催し合計69名が参加した。</li> <li>・飲酒運転防止DVDを会員へ貸し出した。</li> <li>・飲酒運転をしない宣言を行った。</li> </ul>	①「飲酒運転撲滅活動in2022ふくい」に協賛（STOP DRUNK DRIVING PROJECT in FUKUI） ・期間：令和4年8月～令和5年7月（1年間）、3年目 ・主催：FM福井（協賛企業：17社） ・ラジオCM100本放送、啓発ポスター・グッズ作製、配布 ②アルコール検知器導入促進助成 ・助成台数：91台
令和3年度取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省や全日本トラック協会とタイアップしたチラシを配布した。</li> <li>・トラックフェスティバル（2月19日）を開催し、一般市民に対して啓発品を配布し飲酒運転撲滅を呼びかけた。</li> <li>・飲酒運転を撲滅する啓発品を制作し、会員事業者へ配布した。</li> </ul>				

令和5年度に設定した最重点施策

モード・テーマ	愛知	静岡	岐阜	三重	福井
飲酒運転ゼロに向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック・セーフティ・ラリーの実施。</li> <li>・交通事故防止セミナーの開催。</li> <li>・トラック安全デー活動の推進。</li> <li>・交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。</li> <li>・国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。</li> <li>・各種マスメディアを利用した広報事業。</li> <li>・飲酒運転根絶を目的とした啓発グッズの作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌等にて飲酒運転防止を啓発</li> <li>・交通事故防止セミナーの開催</li> <li>・飲酒運転防止啓発グッズの作成検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼を確実に実施（アルコール検知器使用）</li> <li>・交通事故防止対策委員会にて周知</li> <li>・広報媒体を活用した周知（HP、メルマガ、機関紙）</li> <li>・適正化巡回指導や交通事故防止巡回による周知及び指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期発送で周知</li> <li>・初任運転者講習及び各支部講座での飲酒運転防止についての説明</li> <li>・飲酒運転防止DVDの会員用への貸し出し</li> <li>・適正化実施機関巡回指導等での指導</li> <li>・飲酒運転をしない 運転者宣言の募集と周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「危険運転0宣言」（飲酒運転・ながら運転・あおり運転）継続</li> <li>・「飲酒運転撲滅活動inふくい」（SDDプロジェクト）への協賛</li> <li>・アルコール検知器導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限10万円）</li> </ul>



➤ (Mission1st運動) トイレステッカーの作成・配布

運転者に直接メッセージが届くよう、また、他の情報と輻輳しない「トイレ」に注目し、主に営業所のトイレに貼付して貰うトイレステッカーを作成。令和4年度のテーマ「飲酒習慣啓発」とし、正しいアルコールに関する正しい知識を認識してもらうよう周知、啓発。

➤ (Mission1st運動) 事業者向け講演資料の作成・配布

4半期ごとに講習資料を作成、各支局へ配布するとともに運輸局HPに掲載。関係事業者団体と連携し、各団体で予定されている事故防止委員会等の会合において、事業者に対し事故防止に資する情報を講義、資料等により提供。

令和4年度のテーマ

令和4年4～6月 (テーマ: 適性診断・管理者講習)

令和4年7～9月 (テーマ: 点呼)

令和4年10～12月 (テーマ: アルコール依存症への対応) ※トイレステッカーと連動

令和5年1～3月 (テーマ: 事業用自動車の構造上の特性)

➤ 自動車事故防止セミナー2022の開催 (令和5年2月2日 ウィンクあいち (愛知県産業労働センター) )

今回は『社会の変化に対応した事故防止対策』をテーマとし、安全・安心な車社会の実現に向け、働き方改革によるトラック・バスの運転者労働・運転時間の見直しや、自動車の先進安全技術と発達、また新型コロナウイルス感染拡大による影響等、目まぐるしく変化していく社会情勢における自動車事故防止について5名の講師の方にご講演いただいた。

聴講者数 350人 (一般聴講者292人、関係者58人)

Youtubeによる見逃し配信 (2月4日～14日) 視聴回数450回

➤ 中部ブロック独自の通達を发出

「運行管理者選任の徹底について」(令和4年9月20日付 事務連絡)

令和4年度に中部運輸局管内において実施された一般乗用旅客自動車運送事業者及び一般貨物自動車運送事業者に対する監査のうち、運行管理者が全く不在であったとの指摘が複数確認されたことから、運行管理者の選任の徹底について注意喚起するよう、事務連絡を发出。

➤ バス車内事故防止強化月間

7月を「バス車内事故防止強化月間」と定め、バス事業者、バス利用者及び一般のドライバーへの啓発活動を実施。

2.(2) Mission 1st 運動の取組状況

ブロック共通の課題に対応したコンテンツの開発 「トイレステッカー」の作成、配布

ステッカーのテーマ (1年ごとに1種) **令和4年度「飲酒習慣啓発」** **令和6年度「交差点2段階停止啓発」**  
**令和5年度「車間距離維持啓発」** **令和7年度「後退時確認徹底啓発」**

令和4年度作成したステッカー  
 会員営業所ごとに1セット配布

令和4年度トイレステッカーに対する関係団体へのアンケート結果

【良かった点】

- トイレという必ず一定時間立ち止まる場所への掲示は周知方法として良いと思った。
- 「〇〇は禁止です!」という一目でわかりやすいメッセージがメインに表示されているのは良い。
- イラストが使われていることでわかりやすく、お酒の種類よりの違いがよく分かりやすい。
- アルコール摂取量や分解までの時間等、具体的に表示があり分かりやすい。
- 各社ごとに時間の設定が出来たこと。
- 勤務終了後や休日の飲酒習慣について、各自で自己啓発できたと思う。
- 手軽に貼れる、シール式なのが良かった。

【改善すべき点】

- アルコールチェックの徹底の文句があっても良いかと思う。
- 記載時間を守れば飲酒を容認 (推奨) するようにも取れ、抵抗感があつたと現場からは聞いた。
- 乗務前何時間というのは判断しにくく、決めてしまうのは難しい。
- デザインがもう少しすっきりした方が良い。
- もう少し大きめに作っていただけると幸いです。(小さい文字が見にくいドライバーが多いため)
- 枚数が少なく、規模が大きい営業所では他の掲出物等に紛れて目立たない。
- ラベル部分がかたまりやすいので、ラベルを省略 (別紙で案内) して1枚でも多く作成した方がよい。



シールサイズ (138mm×35.5mm)



令和4年度「飲酒習慣啓発」とテーマとして作成した「トイレストッカー」配布。附帯して、「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」に令和4年3月25日にアルコール依存症に関する記載拡充された内容について周知するため、令和4年10～12月期講演資料のテーマを「アルコール依存症への対応」として作成。運転者教育に活用してもらうことで相乗効果を狙った。



Mission 1st 中部ブロック事業用自動車安全対策会議

### Mission 1st 運動とは？

事業用自動車交通安全プラン2025中期ブロック取組計画で設定された目標を達成するため、中部ブロックの行政・関係団体関係者等一帯となって各モードの特性を踏まえた、情報発信を中心とする以下の取組みを推進します。

- 安全管理についてより理解を深めること
- 一体感を持つ取組みを推進すること
- 広く積極的な情報発信をすること

※Mission 1st (ミッションファースト) mission... 使命、任務 1st (first) ... 最初の、第一

### Mission 1st 運動 行政から事業者に向けた情報発信

#### 講演資料（計約数回に右記を大きく含む）

- 平成30年4～6月期講演資料（テーマ：点検）
- 平成30年7～9月期講演資料（テーマ：適正運転）
- 平成30年10～12月期講演資料（テーマ：健康管理）
- 平成31年1～3月期講演資料（テーマ：ハードウェアの安全対策）
- 平成31年4～令和元年6月期講演資料（テーマ：点検）
- 令和元年7～9月期講演資料（テーマ：指導監督）
- 令和元年10～12月期講演資料（テーマ：ドレシロ運用）
- 令和2年1～3月期講演資料（テーマ：車両の点検整備）
- 令和2年4～6月期講演資料（テーマ：運転者に対する指導監督＜交通・国道＞）
- 令和2年7～9月期講演資料（テーマ：手続き・確認をお忘れなく）
- 令和2年10～12月期講演資料（テーマ：最新による発着事故から学ぶ）
- 令和3年1月～3月期講演資料（テーマ：右折による発着事故を減らす（最近の右折事故事例））
- 令和3年4～6月期講演資料（テーマ：点検）
- 令和3年7～9月期講演資料（テーマ：飲酒運転防止1）
- 令和3年10～12月期講演資料（テーマ：飲酒運転防止2）

令和4年度10月～12月期 講演資料  
運行管理者の方向け

### アルコール依存症への対応



国土交通省 中部運輸局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chubu District Transport Bureau

(参考) 指導・監督マニュアルへのアルコール依存症に関する記載拡充 令和4年3月29日改定

運転者の指導・監督時の実施マニュアルへのアルコール依存症に関する記載を拡充し、事業者・運行管理者がアルコール依存症に関する理解を深め、飲酒傾向の強い運転者に対する適切な指導・監督の実施につなげる。

【記載を拡充するポイントと狙い】

- アルコール依存症に関する基礎知識**
  - アルコール依存症の症状等をイラスト付きで細く解説し、理解促進。
  - スクリーニングテストの内容を掲載し、自己判定を可能に。
- 飲酒傾向の強い者に対する対応方法の例**
  - 周囲の適切なサポートが必要なる旨を明記し、具体的内容の例を記載。
  - 専門機関の相談窓口がある旨を事業者へ情報提供。
- 治療法等の医学的知見**
  - アルコール依存症の治療方法を情報提供し、治療法が存在するという事実を共有することで、飲酒についての意識変革を促進。
- 事業者独自の取組事例**
  - 他事業者での取組の参考となるよう、調査した事業者独自の取組事例の詳細を情報提供し、業界全体の自主的な取組を促進。

トラック事業者編  
国土交通省

【各業態の指導・監督マニュアルにそれぞれ追加】  
<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/instruction.html#press20120410>

## 自動車事故防止セミナー2022 開催・概要

今年度は令和5年2月2日、愛知県名古屋市のウイंकあいち（愛知県産業労働センター）において「中部運輸局自動車事故防止セミナー2022」を開催しました。今回は『社会の変化に対応した事故防止対策』をテーマとし、安全・安心な車社会の実現に向け、働き方改革によるトラック・バスの運転者労働・運転時間の見直しや、自動車の先進安全技術と発達、また新型コロナウイルス感染拡大による影響等、目まぐるしく変化していく社会情勢における自動車事故防止について、5名の講師の方にご講演いただきました。

日時 令和5年2月2日（木）13:00～17:00

場所 ウイंकあいち 2階大ホール  
（愛知県産業労働センター）

### 講演

- 基調講演 自動車運転者の労働・運転時間見直しと今後の課題  
東京海洋大学 寺田 一薫 氏
- 講演1 先進安全技術、及び高度運転支援技術による事故抑制について  
三菱ふそうトラック・バス 菊池 直樹 氏
- 講演2 健康起因事故防止は「ハイリスク者の見える化」から～情報の合わせ技で事故予兆を～  
NPO法人ヘルスケアネットワーク 作本 貞子 氏
- 講演3 ICTを活用した運行管理の高度化における現状と将来  
国土交通省 上田 享 氏
- 講演4 健康起因事故に伴う健康管理・乗務員管理システム導入と取組みについて  
濃飛乗合自動車 中村 勝 氏

聴講者数 350人（一般聴講者292人、関係者58人）

見逃し配信 セミナー終了後、Youtubeによる見逃し配信を実施（期間：2月4日～14日） 視聴回数450回

機器展示 機器メーカー等8社による運行管理機器・健康管理機器等の展示

